

アトムハードカラー 水性エポタフ

路面のカラー化でお困りではありませんか？



1. 以前にカラー化したが、下地が摩耗して塗り替えたい。
2. 全面施工や矢羽根施工の際に継ぎ目や段差を発生させたくない。
3. 車道を水性塗料で塗り替えたいが耐久性が心配。



特長

1. 幅広い下地に塗れる

溶融塗料、水性塗料の既存塗膜や新設・既設アスファルトなど幅広い下地に塗装できます。

2. 継ぎ目がなくきれいな仕上がり

全面施工の継ぎ目や矢羽根施工の段差が発生しないきれいな仕上がりが得られます。
また、硬質骨材を混入（散布）することですべり抵抗性が大きく、安全性を確保できます。

3. 高耐久性 100 倍

従来の水性塗料に比べ 100 倍の耐久性^{*}があります。また、東京都の遮熱性舗装（車道）設計・施工要領（案）の耐久性試験にも合格しました。歩道はもちろん、車道にも適用できます。

*当社促進摩耗試験による

4. 環境負荷を低減する水性塗料

VOC（揮発性有機化合物）の削減に貢献します。
非危険物のため引火の危険がなく、安全に取り扱えます。

5. 透水性・排水性機能を損なわない仕上げ

スプレー施工することで、透水性・排水性アスコンの機能を損なわない仕上げが可能です。

用途

車道、歩道、自転車道、通学路、公園、アメニティー広場、商店街、駐車場、駐輪場など

色

標準色：8色



ライムグリーン



グリーン



ディープグリーン



ブルー



ブラウン



ベージュ



アイボリー



グレー

*カタログ上の色はイメージです。実際の色調とは多少異なります。*調色も対応できます。色相は事前にご相談ください。

容量・荷姿

15kg セット：主剤（共通）石油缶 7.5kg
硬化剤（各色）半切り缶 7.5kg

施工仕様例

①密粒アスコン面 超高耐久仕様／ローラー塗装仕様

工程	材料名	使用量 (kg/㎡)	塗装間隔 (時間)
1	下地調整	油分、異物、泥、埃等を除去する	—
2	マスキング	—	—
3	下塗り	アトムハードカラー水性エポタフ セラサンドC粒 混入	0.5 0.2
4	上塗り	アトムハードカラー水性エポタフ セラサンドC粒 混入	0.4 0.16
5	マスキング除去	—	—
6	養生	—	—
7	交通開放	—	—

②透水性・排水性・開粒アスコン面 超高耐久仕様／エアレスプレー塗装仕様

工程	材料名	使用量 (kg/㎡)	塗装間隔 (時間)
1	下地研磨	骨材表面が平らになるまで路面研磨する 油分、異物、泥、研磨粉等を除去する	—
2	マスキング	—	—
3	下塗り	アトムハードカラー水性エポタフ セラサンドC粒 散布	0.5 0.5
4	上塗り	アトムハードカラー水性エポタフ ホワイトシリカ 40-80 散布	0.5 0.2
5	マスキング除去	—	—
6	養生	—	—
7	交通開放	—	—

養生時間 気温 23℃
湿度 50% 交通開放 1.5 時間以上

*使用量はロス分を含みません。
*塗布量は素地状況や塗り方により増減します。
*塗装間隔は気温 23℃・湿度 50%の時の数値です。気象条件や塗布量によって塗装間隔は異なります。

*下地の研磨基準については標準施工仕様書をご確認ください。
*記載されている仕様は一例です。
詳細な仕様については標準施工仕様書をご確認いただくか当社までお問い合わせください。

注意事項

- 塗装（施工）前の注意
 - 5℃以下の場合には、施工を避けてください。
 - 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 塗装（施工）中の注意
 - 塗料が十分に乾燥していることを確認してから次の工程に着手してください。
 - 1回での厚塗りは避けてください。
- 塗装（施工）後の注意
 - 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
 - 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
 - 凍結の危険のある場所（0℃以下）での保存は避けてください。

全般的注意事項

- 製品で使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様②販促物の内容等は将来予告無しに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまで設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。また、使用方法等につきまして不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 ■道路事業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-1552(直通) FAX(03)3968-7300

■営業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-1552(直通) FAX(03)3968-7300	■受注センター 〒346-0101 埼玉県久喜市葛瀬町昭和沼6 TEL(0480)85-3111(代表) FAX(0480)85-3112	■大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 TEL(072)872-3111 FAX(072)872-1222	■札幌営業所 〒001-0014 札幌市北区北十四条西1-2-5(三見ビル403) TEL(011)738-6070 FAX(011)738-6071	■仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) TEL(022)249-7371 FAX(022)249-7372	■新潟営業所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) TEL(025)244-8011 FAX(025)244-8012	■名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) TEL(052)914-3900 FAX(052)916-0892	■広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) TEL(082)845-2202 FAX(082)845-2203	■福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 TEL(092)503-5200 FAX(092)503-5308	■久喜工場 〒346-0101 埼玉県久喜市葛瀬町昭和沼6(久喜葛瀬工業団地内) TEL(0480)85-7931 FAX(0480)85-3112	■岡山工場 〒708-1312 岡山県岡田郡奈義町柿502-11(東山工業団地内) TEL(0868)36-7000 FAX(0868)36-7010	■加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南條崎1-12-1(加須工業団地内) TEL(0480)65-1159 FAX(0480)65-7146	■本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-3111(代表) FAX(03)3968-7300
---	--	---	--	--	---	---	--	--	---	--	---	--